

PSC Report

パートナーシップ・
サポートセンター

Vol.97



発行 特定非営利活動法人
パートナーシップ・サポートセンター(PSC)
〒464-0067 名古屋千種区池下1丁目11番21号
サンコート池下2F
TEL (052) 762-0401 FAX (052) 762-0407
E-Mail info@psc.or.jp URL http://www.psc.or.jp
発行人・岸田真代

Vol.97発行にあたって

3月、年度末の慌ただしさ中に事務所を引越し半年が経ちました。4月から新しい仲間も増え、事務局スタッフ4人の新体制でスタートしました。今年度は、改めて本来事業を見直し、時代の変化に合わせて事業展開をしながら、組織運営を整備しよう、ということで、事務局スタッフの役割分担から見直し、日々の業務に追われつつも、楽しみながら仕事を進めています。全員が非常勤勤務となったため、担当以外の事業の進捗も共有できるように、業務カレンダーを一元化したり、定期的に情報共有の時間を作るなど、スタッフ間のコミュニケーションの充実も図っています。もちろん、就業時間外のコミュニケーション(別称:飲み会)も重要と考え、こちらの交流も欠かせません。

事務局では今、まもなく始まる「第11回日本パートナーシップ大賞」の募集開始に合わせて、準備に奔走しています。皆さまのお力添えをいただきながら、PSC一同頑張っています。2014年後半もよろしくお願いいたします。

2014年8月吉日

特定非営利活動法人パートナーシップ・サポートセンター
事務局スタッフ一同

第11回日本パートナーシップ大賞 応募受付が9月9日からスタートします!

第11回日本パートナーシップ大賞

日本パートナーシップ大賞は、パートナーシップ・サポートセンターと日本NPOセンターの協働事業という新たな体制のもと、「次のステージ」へと歩みを進めます。地域や社会の課題解決を目指して、全国津々浦々まで協働の輪が広がるように、そして持続可能な社会的事業として次代へ引き継がれていくように、皆さまに支えられながら新たに出発いたします。

皆さまからのご応募、お待ちしております!

●●● スケジュール ●●●

応募受付: 2014年9月9日(火)～24日(水)
一次(書類)審査: 2014年10月29日(水)
現地取材調査: 2014年11月～12月
二次審査: 2015年1月24日(土)
最終審査&表彰式: 2015年2月20日(金)

※募集要項の詳細は、同封のパンフレットや特設サイト
(http://www.psc.or.jp/award/)をご確認ください。

次のステージに向けて3つの取り組み

●より全国区へ!

「NPOと企業の協働」を全国で初めてミッションに掲げた、協働推進のパイオニアであるパートナーシップ・サポートセンターと、全国の民間非営利セクターの中核を担う日本NPOセンターの協働事業として、協働推進力をより一層促進させ、「NPOと企業との協働」のモデルを全国に発信していきます。

●より持続可能な事業へ!

過去10回の開催で蓄積された協働事例は約300事例。これらの分析により構築された協働コンサルティングメニューを新たに展開するなど、日本パートナーシップ大賞を通じて、より良い協働事業が全国に広がるような仕組みを構築します。

●次代の育成へ!

社会の転換期を迎える今、NPOと企業の協働による社会課題の解決が、より一層求められる時代を迎えます。これからの協働推進を担う次代の育成のために、日本パートナーシップ大賞を通じて、協働のノウハウを全国に広めていきます。



事前調査会、第3回運営委員会を実施

8月1日(金)、現地取材調査を担当していただく調査員の方にお集まりいただき、協働コンサルティングメニューに掲載する一次(書類)審査の評価基準の精査を行いました。これまでの知見を活かし、応募いただいた協働事業の今後の発展につなげるために、どのように評価基準を提示すべきか。活発な議論が行われました。

また、8月11日(月)に第3回運営会議が日本NPOセンターにて開催されました。

主な検討事項は、事前調査会の議論を受けて取りまとめた一次(書類)審査の評価基準の確認、広報戦略や協賛企業獲得に向けた動きの確認、最終審査&表彰式の企画など。限りある時間の中で盛りだくさんの内容でしたが、活発な議論が行われ、とても有意義な会議となりました。(根本)

安城市 「まちづくり人(びと)養成講座(中級編)」 はじまりました!

協働のまちづくり人材養成講座

昨年度、安城市で行った初級編の続編。まちづくりに関心のある市民と市職員とが、まちづくりの担い手となり、協働の推進者として、実践的なスキルを習得するための全5回シリーズの講座です。

初回の8月9日(土)は、PSC代表理事岸田による、講義とワークショップを行いました。初級編の振り返りと、協働推進に関する基本的なレクチャーを行ったあと、「協働コーディネーター100問チェック」を行いました。「協働の推進者=コーディネーター」として、自分が今、どの辺りのステージにいるのかわかることで、個々に今やるべきことや目指す姿をイメージすることが狙いです。参加者の半数以上は、昨年に引き続いてのご参加。安城市の協働推進に非常に意欲的で、意識の高さが伺えます。本講座は、残り4回、11月まで続きます。(水野)



市議はもっと協働の理解を! ～その「残念な発言」に市民は・・・

春日井市民の会

「高森台県有地の活用を提案する市民の会」(略称市民の会)という、愛知県春日井市の市民団体から数回にわたる相談を受けて約半年。8月2日(土)、ようやく第1回目の勉強会にこぎつけました。

みんなで学ぼう!「真の協働」～行政とのパートナーシップを築くために～と題して、春日井総合福祉センターで開催された第1回勉強会には、市議員3名を含め約30名が集まりました。県有地をこんな風に使いたい!!とつくられたジオラマ(模型)が飾られる中、市議員らは協働について各自自分の考えを述べていきました。

が、その内容はほとんどが「行政の手の届かない部分を既存団体(町内会・自治会などなど・・・)に力を借りること」らしく、「その残念な発言」(参加者の感想)に、参加者の多くは「まずは協働の意味を市議や行政マンに勉強してもらわねば」と意見を寄せました。

市議の途中退席がそれを裏付けてもいますが、私(岸田)からは、「協働とは何か」とともに、こうし



た市民提案型の活動が自発的に起きていることの素晴らしさ、重要さと、それをいかに形にしていけるか、その道筋をとともに探っていきましょう、と話をさせていただきました。今年度4回の勉強会が計画されており、私も講師に続きファシリテーターとして支援していく予定です。(岸田)

ステークホルダー・ダイアログを実施して

印刷会社としてできる社会貢献を進められている滋賀県のアイズ(株)。CSRの新しい取り組みとして、NPOとの協働事業に注目されているそうです。(山崎)

アイズ(株) 営業1部 金融ソリューション 黒田 昌宏さん

2014年3月、当社主催のCSRセミナーにて、パートナーシップ・サポートセンター代表理事 岸田様に講演いただきました。その中で企業のCSR活動を地域と密接に連携し、持続的に行うために「NPOとの協働」という手段があることを学びました。

そして、NPOとの協働を通じて、当社がCSR活動を行うために「必要とされるものは何か」を抽出するために、NPO・取引先の方々、更に従業員も参加してステークホルダー・ダイアログを8月8日(金)に実施しました。

NPOや取引先の方々からは、従業員とは違う視点の貴重な意見をいただき、「NPOとの協働」への多くのヒントを得られたステークホルダー・ダイアログとなりました。



会員紹介

CSRセミナーをきっかけに今年4月、新規企業会員になったアイズ(株)をご紹介します。

アイズは、水資源豊かなびわ湖を抱える滋賀県の印刷会社として、環境を中心とした様々なCSR活動を展開しています。その中から地域コミュニティとしての環境保全活動の取り組みを紹介いたします。

◆森づくり活動◆

2010年、当社社員が主体となって「鏡の森グリーン倶楽部」を設立。当社裏山を中心に下草刈りや枯れ木の伐採などの森づくり活動に毎年取り組み、森林保全に努めています。また、2012年からは地元竜王町「緑の少年団」に参加している小学生とともに、当社裏山に自生する植物の「樹木探しゲーム」を行うなど、地域や各事業者との交流も行いながら環境保全に取り組んでいます。「緑の少年団」は竜王町緑化推進委員会が児童に対して推進する緑化及び自然保護思想の普及・啓蒙事業の一つです。



◆ヨシ刈り活動◆

「滋賀経済同友会」や「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」主催のヨシ刈りに参加をしています。ヨシはイネ科の多年草で、

琵琶湖の水際に広く生育。水質改善と魚や野鳥の生育場所として大切な役割を果たしています。生育を助けるに欠かせないのが、冬場に枯れたヨシの地上部分を刈ることです。そして2、3月にヨシ原に火入れして雑草を焼くことにより、春に地下茎から元気な若芽が伸びてくるのです。



◆企業データ◆

アイズ株式会社 創業 1877年4月(明治10年)
 事業内容 高級美術・商業・宣伝・出版・帳票印刷&コンサルタント、企業PR&コンサルタント、出版・イベント企画、デジタルメディア
 本社・工場 滋賀県蒲生郡竜王町鏡2291-3
 TEL:0748-58-8101(代)
<http://www.shiga-web.or.jp/eins/>

来年3月、新CSR検定(3級)を名古屋で開催します!

新CSR検定

「サステナビリティ志向」を培う検定試験として、(N)企業社会責任フォーラム、(株)オルタナ、(公財)日本財団などが中心となり、これまで11回実施してきたCSR検定。

このほど全面改訂し、すべての社会人がCSRの基礎を理解するために「新CSR検定」と名称を変えて、来年3月8日(日)に全国の各主要都市で実施することになりました。名古屋会場は、PSCが担当します!

そこで検定受験に合わせて、この機会にじっくりとCSRの基礎を学んでみませんか?PSCでは、CSR検定受験に向けた「勉強会」を企画中です!詳細は決まり次第、お知らせいたします。(松橋)
 *検定の詳細は、PSCのホームページまたは同封のチラシをご確認ください。



(株)真誠×ママのホンネ研究所の協働事業「ごまんえつプロジェクト」で進めてきた新製品が9/1発売!

CSR推進

PSCがCSR推進事業として関わっている、(株)真誠のCSR活動の取り組みのひとつ、NPOとの協働事業「ごまんえつプロジェクト」。NPOとの初めての協働で、新製品を開発し、9月1日に満を持しての発売となります。企業とNPOのどちらにとってもwin-winとなる事業として、何度も検討を重ね新製品開発プロジェクトを進めてこられました。発売を迎え、双方の担当者の方から事業を行った感想などを寄せていただきましたのでご紹介します。

(山崎)



(株)真誠 業務本部 営業支援チーム
 主任 岸川 敏晴さん

2013年5月に(株)真誠はCSR活動の中で、名古屋市を拠点としたNPOママのホンネ研究所と協働事業をスタートさせ、「ごまんえつプロジェクト」と命名しました。

同年7月に子育て中の母親の悩みを聞く為、イベントで「食」に関するアンケートを実施。10月にはママチームを結成し初のグループインタビューを行いました。そして、1年以上の歳月をかけて母親たちの想いを込めた新製品「ごまプロ無添加ごまあえの素」「ごまプロ無添加雑穀あえの素」が完成となりました。私自身、このプロジェクトの立ち上げから関わらせていただき、アンケート調査・分析、グループインタビュー、インターネットでの意見交換など、初めて経験する事が多く試行錯誤の連続でした。

NPOとの協働事業で得た経験は今後の業務に必ず活かせるものと考えております。また、このようなストーリーから生まれた製品コンセプトは、多くの御得意先からご支持を頂いており、営業現場でも好スタートが切れております。



「ママが心も体も、もっともっとキレイになってほしい」、キレイになって明るく健康であれば家族も子どもたちも笑顔になれます。その想いを、このプロジェクトを通じて実現したいと考えております。



《ごまんえつプロジェクト専用ホームページURL》
<http://www.shinsei-ip.ne.jp/gomapro/>

ママのホンネ研究所
 所長 麦沢 圭子さん

「子育て中のママと社会の架け橋になりたい」そんなコンセプトで活動しているママのホンネ研究所と、(株)真誠との出会いは、まさに運命だったのかも知れません。実は、小さな子どもを抱えているママは、「自分が社会から取り残されている」と感じていることが多いのです。

一般応募のママで結成したママチームのメンバーも、少なからず同じ思いを抱えていました。それが、真誠と打合せを繰り返し、facebook等を通じて、意見交換を続けていくうちに、少しずつ変わっていったのです。

「自分達の手で、ママをキレイにするお手伝いが出来る」その想いが決意に変わり、自信に変わり始めたころ、新製品が完成しました。関わった私たちママが更に笑顔になれたように、手に取ってくれたママにも笑顔と自信をお届けしたい。真誠との協働の経験を活かし、ママ研はこれからも、ママのホンネに寄り添い、育児環境の未来を考える研究所として活動していきます。



PSC 主な活動2014年7月～8月

| | |
|---------|-------------------------------------|
| 7/1(火) | 安城市職員研修② |
| 7/7(月) | 日本赤十字社来所、定例事務局MTG |
| 7/8(火) | P賞事務局MTG①(東京) |
| 7/9(水) | 春日井市民の会来所 |
| 7/16(水) | 真誠CSR委員会⑤ |
| 7/17(木) | SV会議 |
| 7/18(金) | 安城市職員研修③ |
| 7/22(火) | 愛知県社会活動推進課来所 |
| 7/23(水) | ボタンCafé運営会議 |
| 7/25(金) | On Earth 来所 |
| 7/28(月) | 定例事務局MTG |
| 7/30(水) | カフェ・アイリス運営会議 |
| 8/1(金) | P賞事前調査会① |
| 8/2(土) | 春日井市民の会勉強会① |
| 8/6(水) | 名古屋市公共事業評価 |
| 8/8(金) | アインズSHD(滋賀) |
| 8/9(土) | 安城市まちづくり人(びと)養成講座中級編① |
| 8/11(月) | P賞運営委員会③(東京) |
| 8/12(火) | (N)あったかハウス・アイデアコンテスト追加助成聞き取り |
| 8/13(水) | 夏季休暇(～15日) |
| 8/19(火) | 豊明市協働推進委員会③ |
| 8/21(木) | SV会議、カフェ・アイリス運営会議 CEO会議(～22日、東京) |
| 8/27(水) | ボタンCafé運営会議 |
| 8/30(土) | 安城市まちづくり人(びと)養成講座中級編② |

インターン紹介

2014年度も損保ジャパンのCSOラーニングとして1名のインターン生が活躍中です!

今年度PSCでインターンさせていただいています、愛知淑徳大学交流文化学部3年の岡田りさです。NPOがどのような働きをしているのかもさえない状態で、インターンが始まりましたが、作業や講座への同行などを通して、理解が深まってきたと実感しています。まだまだわからないことはたくさんありますが、もっと視野を広げ積極的に活動していきたいです。どうぞよろしくお願いします。



編集後記

第11回P大賞。今年は、新しい体制のもと、装いも新たにまもなく応募受付が始まります。今年は何んな協働事業と出会うでしょう?今から楽しみです!!(水野)

事務局近くにあるゴトウフルーツのかき氷。毎年楽しみにしている夏の風物詩ですが、今年はまだ食べぬ間にもう秋の風を感じる今日この頃です…。早く行かなくっちゃ!(山崎)

各事業が本格的に動き出しました。それぞれの現場で、皆さまとお会いできるのを楽しみにしています!(松橋)

夏休みに訪れた長野県安曇野で、パーマカルチャーを実践しているペンションに宿泊。自給自足をベースとした持続可能な暮らしについて、学んできました!(根本)

PSC PICK UP! ピックアップ

「都市の自然を再発見！」
環境プログラムが始まります!

SAVE JAPANプロジェクト

環境プログラム「都市の自然を再発見!～都市のまん中から希少種を考える」が、いよいよ始まります! 各回で若干名の空きがあります。参加をご希望の方は、すぐにお申し込みいただければ幸いです。



【第1回】9月7日(日)10:00～12:00

「都市に残るマメナシの自生地を歩こう!」in小幡緑地

【第2回】9月20日(土)13:00～16:00

「歴史を伝える鎮守の社vs都市公園のけなげな自然」in呼続公園

【第3回】10月12日(日)10:00～13:00

「都市のまん中で里山体験!」in天白公園

*講師:都市の自然のモノサシ研究会

森林インストラクター会“愛”、蝶の飛ぶまちプロジェクト

*協賛:損害保険ジャパン日本興亜(株)

*詳細は、PSCのホームページをご覧ください。

最優秀賞には20万円
まだまだ「協働アイデア」を募集しています!

第9回企業&NPO協働アイデアコンテスト

前号でも紹介しましたが、(公財)中部圏社会経済研究所との協働で、開催している「企業&NPO協働アイデアコンテスト」。協働が実現し追加助成を受ける団体も毎年増えてきています。第8回の入賞団体は1団体が追加助成を受け、3団体が申請中です。あなたの団体の活動も、企業との協働で実現できるかもしれません。事業アイデアをお持ちのNPOのみならず、ぜひご応募ください!お待ちしております。

◇アイデア募集 10月10日(金)まで。
*エントリーは今すぐご連絡ください!

◇最終選考会:12月16日(火)14:30～
名古屋商工会議所2Fホール

◇助成金:最優秀賞20万円、優秀賞10万円、
特別賞5万円、奨励賞(2団体)3万円

◇応募条件:富山、石川、福井、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀に所在するNPO団体(法人格の有無は不問)

*ご質問・お問い合わせは、PSC(052-762-0401)担当:山崎まで、お気軽にご連絡ください。



ボランティアスタッフを募集しています。

PSCでは事務局業務と一緒にお手伝いいただけるボランティアスタッフを募集しています。できる時に、できるだけ、でけっこうです。あなたの力を貸してください!

【内容】広報、郵便物の発送作業、校正作業、講座・イベントの手伝い等

【時間】1日4時間以上。交通費は実費支給。(1日850円まで)

【応募方法】電話(052-762-0401)またはメール(info@psc.or.jp)にて